

手外科領域の疾患 ④

整形外科部長兼手術部長 中村 恒一

ヘバーデン結節、液嚢腫

今回はヘバーデン結節についてご紹介します。指の第一関節（DIP関節）の痛み、腫れ、変形が主な症状です。一般に40歳以降の女性に多く発生します。第一関節の背側に水ぶくれ（粘液嚢腫）が生じることもあります。第一関節の変形、突出、疼痛があり、レントゲンで関節の隙間が狭くなったり、関節周囲の骨の飛び出しや変形があればヘバーデン結節と診断できます。装具、テーピングによる治療、注射による治療があります。



指の第一関節の変形、痛みが生じます。



水ぶくれ（粘液嚢腫）が生じることもあります。

粘液嚢腫の手術

切除して周囲の皮膚をずらして閉じます。



関節固定の手術



小さなキズの手術で関節を固定することが可能です。

関節を固定して、変形を治す手術も行っています。小さなキズですみます。関節固定術により関節は動かなくなりませんが、手前の関節が動いていければ、痛みがなくなり、日常生活をおくれるようになります。指の変形も気にならなくなります。粘液嚢腫のみを切除する手術も可能です。大きな粘液嚢腫場合は切除後に周囲の皮膚をずらすことで皮膚を覆うことも可能です。